

令和7年7月17日定例教授会議事抄録

出席者

中島所長

青山、秋葉、小寺、藏本、佐藤、佐橋、菅、園田、塚本、名和、馬場、古井、榊屋、
松田、真鍋、森本、リジョン、ベグの各教授

上原、梅村、額定其労、小川、辻、柳、渡邊の各准教授

海外渡航者

板倉教授

欠席者

田中准教授

議事 6月19日開催の定例教授会の議事抄録を承認した。

通知事項

1. 教員等の公募について なし
2. 各種研究助成等の募集について なし

報告事項

3. 所長報告

中島所長より報告があった。

- | | |
|------------------------|---------|
| 1) 科所長会議（6月24日） | 【資料P5】 |
| 2) 予算委員会（6月24日） | 【資料P7】 |
| 3) 拡大入試監理委員会（7月8日） | 【資料P8】 |
| 4) 科所長会議（7月8日） | 【資料P9】 |
| 5) 予算委員会（7月8日） | 【資料P10】 |
| 6) 教育研究評議会（7月9日） | 【資料P11】 |
| 7) 教員の海外渡航（報告） 16件 | 【資料P12】 |
| 8) 委員、非常勤講師等の応嘱について 4件 | 【資料P16】 |
| 9) 寄附金の受け入れについて 2件 | 【資料P17】 |
| 10) 外部資金の受け入れについて なし | |
| 11) その他 | 【資料P18】 |
- ・中島所長より、東京大学カレッジ・オブ・デザイン(UTokyo College of Design)
協力依頼について説明があり、待遇や運用等に関する質疑応答が行われた。関心
のある者は所長にメールで連絡するよう依頼があった。

- ・中島所長より、150 年記念叢書として東洋文化研究所による「東京大学のアジア学」刊行について、本学全体をカバーするのは難しいため、当研究所を代表する研究者に焦点を当てた「東洋文化研究所のアジア学」にするとの説明があり、記事の内容にご意見がある場合は、可能であれば7月中に所長に申し出るよう発言があった。
- ・中島所長より、教授会メンバーを対象としたアンケート「国際学術戦略室の活力増進に向けて」について説明があり、8月末日締切として回答の協力を仰いだ。

4. 各委員会報告

1) インフラ委員会

特になし

2) 財務委員会【資料 P 1 9】

梶屋委員長より、預託金申請書の提出について報告があった。

3) 情報・広報委員会

特になし

また、ヘルプデスク定例会からも特になし

4) 研究企画委員会

塚本委員長より、辻大和准教授による着任研究会が本日 14 時から開催される旨周知があった。

5) 図書委員会

特になし

6) 東洋学研究情報センター委員会

特になし

7) G A S 委員会

園田委員長より、JF-GJS フェローの公募要領等について検討し、委員会後に意見交換会が実施された旨報告があった。

8) E A A 委員会

特になし

9) 情報セキュリティ委員会

中島委員長より、CISO と CERT の連絡協議会を行ったこと、標的型攻撃メール訓練が行われること、AI への機密性 2 の情報取り扱いについて、報告があった。

10) 評価委員会

特になし

11) 環境安全管理室【資料 P 2 1】

森本室長より、2025 年度東洋文化研究所防災訓練の実施について説明があった。共同利用室の利用の状況が望ましくなく、先日の産業巡視においても指摘があったことから、利用者への注意喚起を行うよう依頼があった。AED の更新に際し、新たに搭載される機能について説明があり、今後 AED の講習会の実施を検討している旨の報告があった。

12) アジア研究叢書刊行委員会

特になし

13) その他【資料 P 3 9】

- ・馬場教授から、英文雑誌 IJAS に関する報告があった。
- ・小川レクリエーション委員長から、本日開催の行事について発言があった。

5. その他

1) 生理用品の設置について【資料 P 5 5】

中島所長より説明があり、当面は 1 階・2 階のみ個室に配置し、利用状況を確認する旨報告があった。

2) 「年 5 日」の年次有給休暇の確実な取得について

荻野事務長より説明があり、夏季一斉休業日の前後に年次有給休暇を組み合わせで取得する等、積極的に年次有給休暇を取得いただきたい旨発言があった。併せて、特別休暇（リフレッシュ休暇）は「年 5 日」の年次有給休暇を消化してから利用してほしい旨の依頼があった。

3) その他

- ・森本教授より、前回の教授会で承認されたエマーム・レザー廟附属イスラーム研究所との覚書について、大学本部から協定として取り扱うことの連絡があったため、協定として締結することが諮られ、承認された。なお、英語名称については変更がないことも併せて報告があった。
- ・佐橋教授より、共同研究室の利用に関する発言があり、利用方法や運用については、今後、関連する委員会において継続して検討することとなった。

審議事項

6. 教員の海外渡航について 3 件【資料 P 5 9】

出張申請者より説明があり、承認された。

7. 訪問研究員の受け入れ等について【資料 P 6 0】

新規受入 4 件、期間変更 1 件につき、各受入教員より説明があり、承認された。

8. 教員人事について

1) 国際学術戦略室准教授（URA 担当）の選考について

中島所長より、准教授候補者の決定にあたり、出席者が定足数に達しているため本教授会で議決が成立する旨説明があった。続いて選考委員会委員長より、回覧資料に基づき、候補者について説明があり、投票を行った結果、可決された。

2) 国際学術交流室助教の選考について

中島所長より、助教候補者の決定にあたり、出席者が定足数に達しているため本教授会で議決が成立する旨説明があった。続いて選考委員会委員長及び選考委員から、審査経過及び審査理由等の説明があり、投票を行った結果、可決された。

3) 新世代アジア研究部門特任教授（2026 年度著名外国人教員）の選考について

中島所長より、特任教授候補者の決定にあたり、出席者が定足数に達しているため本教授会で議決が成立する旨説明があった。推薦教員より候補者の説明があり、続いて選考委員より審査経過及び審査理由等の説明があった後、投票を行った結果、可決された。

なお、受け入れ期間について 2026 年 8 月から 2027 年 7 月まで、年度をまたぐ採用とする旨併せて諮られ、承認された。

9. その他

特になし